

会議記録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 24年 7月 26日(木曜日)	開催時刻	13時 30分から 14時 00分
会議名	丸子地域協議会(平成 24年度第 5回)		
出席委員	齊藤重一郎会長、丸山かず子副会長、池田佐代子委員、内田弘子委員、久保田和英委員、齊藤實委員、笹井文雄委員、清水三枝委員、竹花和彦委員、竹花節子委員、宮坂雄一委員、宮崎涼委員、宮下正明委員、村松正孝委員、山本進委員【欠席】北村好美委員、工藤裕子委員、佐藤重喜委員、中澤ゆかる委員、松山慶子委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、宮澤センター次長兼地域振興課長、児玉地域振興政策幹、芹澤市民生活課長、高野健康福祉課長、小相沢建設課長、丸山産業観光課長、滝沢上下水道課長、矢島丸子学校給食センター長、大平地域政策担当係長、翠川地域政策担当主査、馬場		

会議次第

1 開会（宮澤センター次長）

- ・配布資料の確認、欠席委員の報告

2 あいさつ（会長）

梅雨も明け、本格的に暑い夏がやってきました。委員の皆様には、体調に十分気をつけていただき、この夏を乗り切っていただきたいと思います。

本日も全体会終了後、2つのグループに分かれ、地域課題などについて話し合う分散会を予定しています。分散会も本日の協議を含めると3回開催したことになります。研究すべき課題もある程度絞り込める段階に入ったと思いますので、本日は分散会協議の後に、全員での協議時間を設けたいと思いますので、よろしく願いいたします。

3 報告

(1) 意見書（丸子地域循環バスに関する提言）に対する回答について

（会長）5月 11日に開催した協議会の決定を受け、5月 21日に市へ意見書を提出した「丸子地域循環バス まりんこ号の運行見直しに関する提言」について、市からの回答を報告していただきます。回答書の中で、協議会の提言内容を大変有意義な内容であると表現していただいております。回答書の中で、協議会の提言内容を大変有意義な内容であると表現していただいております。回答書の中で、協議会の提言内容を大変有意義な内容であると表現していただいております。

- ・建設課から回答書の概要について説明。

資料 1: 回答書

主な質疑の内容

（委員）新聞報道などによると、期間限定で小学生以下の子どもがバスに無料乗車できるということだが、これは上田市全体のことか。

（建設課長）そのとおりです。「キッズパス」という今年初めて取り組む事業で、市全体の路線バスを小学生以下の子どもが無料で乗れるというものである。期間は、7月 24日から8月 22日の30日間。夏休み期間中、子どもさんが路線バスに無料で乗り、バス体験してもらいたいという施策であり、市全体で実施している。

(委員) まりんこ号も含まれるという事でよいか。

(建設課長) まりんこ号も含まれているが、もともとまりんこ号は小学生無料である。

(委員) 子どもを対象とした今回の施策はとても良いと思う。新聞等にある程度出ているが、もっとPRしてもらわないと子どもたちは利用しない。子どもたちが利用すれば、親も乗る事となり、そういう方たちがたくさん乗ってくれば、良い経験になるのではないかと是非PRをお願いしたい。

4 その他

(1) 分散会での協議内容について

第1分散会(担当委員から報告)

～ は資料参照。 について補足説明。

観光に関する事項

- ・丸子温泉郷は丸子地域にとって大きな観光資源である。
- ・内村ダムを含め、周辺をどう活かしていくかが課題となっている。
- ・温泉郷の歩道部分をどう確保するか。色塗りなどして工夫をしてはどうか。
- ・有料トンネルに関して、宿泊客が帰宅する際の料金くらいは無料にできないか。
- ・内村ダムでカヌー遊びなど、ダムを一つの観光ポイントにできないか。
- ・観光の重要なポイントは「食」。お土産や料理の工夫がもう少しできないか。

地域内分権や市民協働に関する事項

- ・今年は上田中央地域協議会の皆さんと交流を持ちたい。
- ・行政の補助金によって始める事業については、その後の運転資金の見込みを立てながら、継続的な活動に向けた事前準備をする必要があるのではないかと。

第2分散会(担当委員から報告)

資料と重複する部分は省略。

農地に関する事項

- ・農地については昨年度も研究会等で討議していたということ、それによって行政側との関係で、チップシュレッダが導入となっていることを確認。実際に自治会単位で貸し出しになる状況を確認した。

商業に関する事項

- ・中心市街地とカネボウ跡地にできた商業施設との連動はできないか。

観光に関する事項

- ・丸子独自の観光資源を掘り起こす。ターゲットを絞った方が良いのではないかと。魅力あるものということで、木曾義仲に焦点を当てる案も出ている。
- ・地域ブランドということで、第6次産業のようなものを含め、他の地域から人を呼び、お金を使ってもらえるようなブランド化を考えた方が良いのではないかと。

市民協働に関する事項

- ・地域協議会自身がどうしたら地域住民の方々と連携できるか。魅力アップ応援事業の方々との意見交換会は行ったが、色々な方たちの声を聞くことや意見集約することが地域協議会の役割でもあるのではないかと。

本日の分散会も、課題と分科会設置に向け、精力的に話し合いたい。

資料：前期協議会からの引継ぎ事項及び分散会の意見等について

主な質疑の内容

(委員) 第1分散会の報告に関して、他地域の協議会との交流ということで、「中央地域協議会」と具体的な名前が出たが、中央地域協議会は他の8つの協議会とは少し違い、上田市全市の団体の委員等が入っており、地域だけのことをきちっとやるのとは少し違う面があるように思う。具体的に中央地域協議会と交流することがいいという理由はあるのか。

(委員) 私が提言したものであるが、特に深い意味は無い。昨年度武石地域と交流した折に、他地域はどのような問題を抱え、どんな活動をしているのかを聞きたいという趣旨で意見を出したものである。

(委員) 「中央地域協議会」でなければいけないという事なのか。

(委員) 特にどの協議会という指定は無い。他の地域協議会はどうか知りたいということで話をした。

(委員) 分散会においては、特定の協議会との交流といった絞込みはしていない。中央とやってはどうかという意見があった中で、どこと交流するかは全体の場で、皆さんと話し合いをして決めていければ良いと思う。

(2) 次回以降の会議の日程等について

(事務局) 次回以降の会議の開催日については、会議次第に掲載されている日にちで事前にお決めいただいている。次回の開催時間も本日と同じ1時30分からでよいか。

(会長) 開催時間については、前々から夜開催や時間帯の変更等の意見が出ていた。また、夜の場合には、時間が制約されてしまうという意見も出ていた。次回も今までどおり午後1時30分からでいいか、それとも別の時間をセッティングしたらいいか、今回皆さんの意見をまとめたい。

意見なし

(会長) 丸子の場合には、今までどおり午後1時30分開催ということでよいか。

異議なし

(会長) 次回以降も原則としては、午後1時30分からの開催としたい。また、御意見が出た場合には、その都度検討したい。

- ・ 第6回丸子地域協議会 平成24年8月28日(火曜日)午後1時30分から
丸子地域自治センター4階 講堂
- ・ 第7回丸子地域協議会 平成24年9月27日(木曜日)
- ・ 第8回丸子地域協議会 平成24年10月25日(木曜日)
- ・ 第9回丸子地域協議会 平成24年11月26日(月曜日)
- ・ 第10回丸子地域協議会 平成24年12月21日(金曜日)

(3) その他

(ア) わがまち魅力アップ応援事業のアンケート調査について(センター次長から資料説明)

・ 7月13日に市民参加・協働推進課からわがまち魅力アップ応援事業の実施団体代表者へアンケートが発送された。丸子地域協議会でも3月に提出した意見書の中で、補助期間等の見直しや団体との交流会等の提案をしている。また、地域内分権確立に向けた第4ステージの取組の一つとして、わがまち魅力アップ応援事業の拡充の検討がある。それに基づき、今まで応援事業を実施した団体にアンケート調査を依頼したということ。

・アンケート内容は、補助金額や補助期間の見直しなど丸子地域協議会で提出した意見書の内容にも触れており、地域協議会の意見も踏まえた中で現在、魅力アップ応援事業の見直し作業を行っている。

資料：わがまち魅力アップ応援事業のアンケート調査への御協力について（依頼）

主な質疑の内容

・なし

(イ) 地域の産婦人科医療を考える研究会における検討状況について

(副会長) 前回の地域協議会で承認いただいた研究会を立ち上げ、全体会終了後に会議を開催し、今後の学習について協議を行ったうえで、上田市産院と東御市助産所の視察を決定した。丸子地域協議会の研究会として実施することに対する承認をいただきたい。

(会長) ただいまの研究会の視察について、私としては是非協力していきたいと思うがよろしいか。

全委員が同意

(副会長) 研究会メンバーに限らず、希望する委員がいれば是非参加願いたい。

5 閉会 14:00 地域協議会終了後、分散会等開催（第24会議室）